

議会モニター委嘱式・意見を聴く会 ～新年度スタート～

瑞穂町議会では、議会改革や活性化を推進し開かれた議会を目指すため、令和5年度より議会モニター制度を実施しています。

4月15日に委嘱式が行われ、議会モニターの方々(5名)に、議長が委嘱状を交付しました。

議会モニターの方々には、定例会や委員会を可能な範囲で傍聴していただき、アンケートへの回答や意見を聴く会などを通じてご意見をいただきます。



議会モニター
委嘱式



8年7月3日に開催の議会モニター意見を聴く会で議員定数などについての意見を聴く議員

議員定数に関する協議を再開

令和5年9月21日の議会運営委員会で「ここ数年、議員の定数(16名)に満たない状況が続いていることなどから、議員定数について検討する必要がある」といった意見があり、協議が開始されました。その後、議長からの諮問を受け、令和6年2月5日からは全議員で構成された議員政策研究会へ協議の場が引き継がれました。議員政策研究会では、令和7年1月24日までの間、8回にわたって協議が行われました。そこでの協議結果が議長に報告され、その後、議会運営委員会で結果の共有が図られました。最終的には「議会改革の大きな視点の中で、適正な体制において、今後も協議を継続していくべき」との結論が、令和7年3月19日に議会運営委員会から議長へ報告されました。

その後、住民から定数を減らすべきとの声があること、近隣自治体も定数を減らしている動向があること、来年の統一地方選挙も迫っていることなどから、令和8年5月21日から議会運営委員会において議員定数についての協議が再開されました。人口規模や行財政状況といった一般的な指標以外に、参考人や住民に直接意見を伺うなど、多角的な観点から協議を進めていきます。

基地対策特別委員会

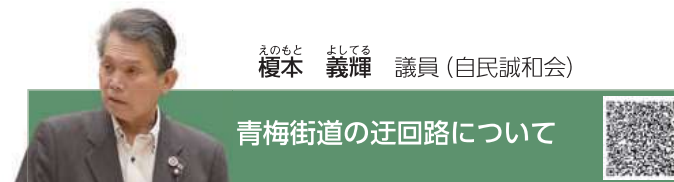
横田基地を見学

4月30日、基地対策特別委員会の委員6名が、周辺自治体議会や東京都、北関東防衛局と合同で実施された横田基地視察に参加しました。

基地内をバスで一巡した後、基地の概要についての説明を受けました。その後、当時の横田基地司令官マックエルハニ一大佐から歓迎の挨拶をいただいたほか、午後にはC-130J輸送機やCV-22オスプレイの地上展示、そして機体の内部の状況などについても確認することができました。



C-130J輸送機の前で隊員と写る視察委員



えのもと 榎本 義輝 議員(自民誠和会)

青梅街道の迂回路について



町長 安全対策の一つの方法として位置づける



夕方の通勤時間帯に混雑している区画道路6-27号線

27号線は、特に朝夕の通勤時間帯には通行車両が増加し、沿道の方の不安の声があることも承知している。現時点では、ポールや看板などにより注意喚起を行うなど、適宜対応して、活用すべきと思うが、所見を伺う。

こんな質問もありました
身近な生活圏での連携強化を

町長 分野ごとに関連する自治体との連携を強化するとともに、新たな連携・調整していく。

質問 東京都は令和5年8月に青梅街道の混雑緩和のため、JR八高線をオーバースタックで立体交差化する箱根ヶ崎立体交差事業に着手しているが、桁の工事がJRの施工のため、いま

だ開通のめどが立っていない。そのため、地を活用した迂回路の設置は、今後の公園整備時期や課題などを検証するなどの安全対策の一つの方法として位置づける。併せて新青梅街道へ迂回を促す新たな方策など、沿道の安全確保に努める。

町長 町では、第三次地球温暖化対策実施



みずほエコパーク管理棟前広場で年9回実施されているリユース事業「みずほ青空市」

質問 町では、太陽光発電設備の設置、公用車へのEV車の導入、ごみ減量や資源化等に取り組んでいる。今後の社会を考え、町民と共に今以上に温暖化対策に取り組むことが望まれる。町も「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、太陽光発電と蓄電設備の設置と充電器設置、企業と連携したリユース事業の導入、ごみ減量化、食品ロス削減の推進、独自の学習ツールでの小学生の環境教育等についてさらなる推進を図るべきである。

町長 取組を分かりやすく住民に周知し、機運醸成につなげていく

わが町も「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、さらなる温暖化対策の推進を



下野 義子 議員(公明党)